



本との出会いを大切に

校長 富川 麗子

早いもので、新年度がスタートして一ヶ月が過ぎました。生徒たちは落ち着いた様子で、学校生活を送っています。4月は、新入生オリエンテーション、新入生歓迎会、実力テスト、定期健康診断、避難訓練、生徒総会などが行われました。

さて、本校では、朝8時30分からの10分間、朝学習・朝読書を実施していますが、特に今年度の1年生は、「朝読書」に特化して行っています。朝8時30分、1年生の教室が並ぶ廊下に行くと、静けさの中、担任の先生も一緒に一心に本に向かっていきます。4月当初の「図書館オリエンテーション」では、全員が、朝読書で読む本を選んだとのことでした。

1年生の朝読書がスタートする前の休日、私は、『丘の上の本屋さん』というイタリアの映画を観ました。高齢の店主が営む丘の上の古本屋さんに、一人の少年がやってきます。熱心に本を見ているので、店主が声をかけると、「お金を持っていないから買えない」と言って帰ろうとします。店主が「読み終わったら返しにおいで」といって、好きな本を選ばせます。少年は喜んで本を持って帰り、一気に読み終え、翌日、返しに来ます。最初は、マンガだったのですが、店主が次は児童文学、中編小説、長編大作、専門書・・・とだんだん難しい本を渡し、返しに来ると少年から感想を聞いたり、別な見方を語ったりするのです。このようなやりとりを通して、少年は、本を読む喜びを学んでいくのです。



本校の図書室に、司書さんが作ってくれた「英語の名言集」が置かれていました。私が選んだ一枚には、次の様に書かれています。「I am a part of everything that I have read.」(私は自分がこれまでに読んだ物の一部である。/セオドア・ルーズベルト) 『丘の上の本屋さん』の中で、店主が、少年に「ゆっくり読んでごらん。すると中身が体に染め込んでいく。」「読むことでじっくり考える時間ができるんだ。」と語りかけます。

どうか、朝読書の時間を大切に、そして、本との出会いを大切にしてほしいと願っています。

活躍する村高生 ～バドミントン男子団体 関東大会出場！～

4月29日(土)、東京都春季高校バドミントン大会 兼 関東高等学校バドミントン選手権大会東京都予選会の決勝トーナメント(団体戦)が、駒澤屋内球技場で行われました。本校からは男子団体、女子団体が出場しました。女子団体は、日体大桜華との試合で結果は、1-2でしたが、粘り強く、接戦が繰り広げられました。

男子団体は、vs 明星(2-1)、vs 目黒日大(2-1)で関東大会出場を決めました。最後、デュースを繰り返すなど大接戦となりましたが、生徒たちは、冷静かつ落ち着いた試合運びで、本当に素晴らしかったです。男子団体は、東京都で総合4位という素晴らしい結果を残しました。バドミントン男子団体の関東大会出場は、平成25年度以来となります。

保護者の皆様をはじめ、OBの方々からの温かい応援、ありがとうございました。



☆HPでは、学校の様子を紹介しています。併せて御覧ください。